

# 避難所耐震満たさず

## 安平町「開設、苦渋の決断」

【安平】胆振管内安平町は9日の臨時町議会で、胆振東部地震の避難所となり、9日午前7時現在で49人が避難している早来町民センターが、耐震性を満たしていないことを明らかにした。

町が3月に策定した「安平町耐震改修促進計画」によると、町民センターは1975年完成で、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積3503平方メートル。公共施設の耐震基準について、震度6強以上の地震でも倒

壊しない構造が求められるが、町民センターは耐震性がないと診断されていた。胆振東部地震で安平町早来は震度6強を記録。町民センターに目立った被害はなく、地震発生直後から避難所となった。最大200

人以上が避難した。

村井克彦副町長は、臨時町議会で町民センターが耐震基準を満たしていないことについて指摘を受け「今回の地震で多くの人数を収容できる場所が町民センターだった。苦渋の決断で避難所として開設した」と答えた。

及川秀一郎町長は北海道新聞の取材に「避難者数が少なくなってきたら別の避難所を開設する予定」と述べた。

(千葉佳奈)

# 早来の避難所耐震満たさず

# 安平町、別施設利用へ

【安平】胆振東部地震の避難所となっている胆振管内安平町の早来町民センターが耐震基準を満たしていない問題で及川秀一郎町長は10日、「公営住宅や建設中の仮設住宅への避難者の入居を進めたい」とし、今後、避難人数減少に伴い、町内の別の施設を避難に使う考えを示した。ただ避難者からは不安や説明を求める声が上がっている。

また、同センターでは、校舎が被災した早来中(生徒113人)も授業をしている。

(小宮実秋、千葉佳奈)

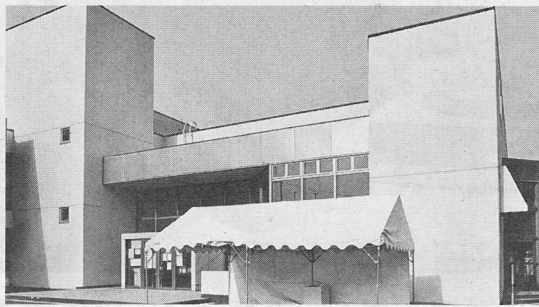
町によると、地震発生直後、職員が建物の壁にひびやずれがないことを目視で確認。及川町長は「被害がなく、収容人数の関係もあり避難所とした」と説明する。

幌のコンサルタント会社に応急危険度判定を依頼。要注意の判定だったが、建物内部に損傷がなく安全性に問題はなしと判断した。

14日からは、早来中が3階で授業をしている。町教委によると、3学期から現在

在建設中の仮設校舎に移る予定だが、それまでは同センターを利用するという。

地震で町内に開設された



耐震基準を満たしていない避難所の安平町早来町民センター

避難所9カ所のうち、耐震基準を満たしていないのは同センターだけだが、最大200人以上が避難し今も約50人が身を寄せる。このうちパート従業員阿部久美子さん(49)は「町は今後の対応を避難者に説明すべきだ。仮設住宅に入居できるか分からない不安」と話す。家族5人で避難するパート

トレーラーハウス 安平の農家に

## 支援団体が募金開始

【安平】被災地支援などを行う一般社団法人協働プラットフォーム(東京)は11日、胆振東部地震で自宅に住めなくなった胆振管内安平町の農家のために、現地にトレーラーハウス8戸を設置する費用を集める募金を始める。

募金は、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を通じて行い、茨城県境町が安平町を支援するため代

従業員今村美菜さん(28)は「耐震性については全く聞いていない。3歳の長女がおり、ここが崩れたらと思うと怖い」と訴える。

一方、苫小牧市も地震発生直後、市の指定避難所のうち耐震基準を満たさない2小中学校に避難所を開設。清水小に最大22人、光洋中に最大24人が避難した。

理で寄付を受け付ける。境町の公式ホームページ(<http://www.town.sakai.jp/paraki.jp>)から、ふるさとチョイスのページに入って寄付が行える。

また、口座振替も受け付ける。振込先は、みずほ銀行大井町支店の普通預金「21926882」。口座名義は「一般社団法人協働プラットフォーム 代表理事 長坂俊成」。(千葉佳奈)

豊州行